

6月「不登校対策セミナー」だより (全4ページ)

*セミナーについてのご意見・ご感想、ありがとうございました。



6月10日(土)は米子市コンベンションセンターにて、11日(日)は鳥取市総合福祉センターにて、「不登校対策セミナー (Basic コース)」を開催しました。

セミナーに参加していただいた皆さんから、**ご意見・ご感想**をいただきました。以下に紹介するのは、その中で、「セミナー活動に活用してもよい」と、OKをいただいた方のご意見・ご感想です。

互いに情報を共有し合うことで、セミナーで学んでいただいたことの理解がさらに深まり、今後の実践力のアップにもつながると考え、・・・まとめました。

◆参加された皆さんのご意見・ご感想について・・・

*ご本人のお考えを尊重し、原文をそのまま、記載させていただきました。



【保護者 A さん】

<感想・意見など>

- ・とてもいいお話しだけど、・・・親が聞くだけで終わってしまう。
- ・学校が、どれだけ理解・対策を進めてくれるか！
教委に行っても、親から学校へ言うようにと言われ、学校という現場で全て止まっているというのが現状。
- ・他にも困っている親はいる。広めるためにはどうしたらいいのだろう。

<印象に残った内容・参考になった内容>

- ・愛は十分与えていると思っていたが、上から目線だった。

【保護者 B さん】

<感想・意見など>

- ・今まで、「目に見えるもの」に働きかけていることが、たくさんありました。
だから、子どもと、気持ちや考えがうまくかみ合わなかったんだと、気づきました。
- ・何でも「共感」すればよいという訳ではないということも分かりました。
「共感」するときと、「しつけ」をするときの判断は、とてもむずかしいと思いました。

<印象に残った内容・参考になった内容>

- ・「愛情」と「愛着」とは、意味がまったく違うことが分かりました。
- ・「父親の役割」についてのお話が、とても参考になりました。

【祖父母 C さん】

<感想・意見など>

- ・長い間不透明だった事柄が、理解できたように思います。

<印象に残った内容・参考になった内容>

- ・「愛着関係」



【保護者 D さん】

<感想・意見など>

- ・不登校の子に限らず、子どもへの接し方が、大変参考になりました。
- ・上の子が不登校、下の子が友だち関係に悩んでいるため、・・・
どうしたら心穏やかに日々過ごせるようになるか、親としてサポート、家を居心地よくしてあげられるか、大変勉強になりました。
- ・実行に移し、続けるのは決して簡単ではないですが、頑張ってみようと思います。
ありがとうございました。

<印象に残った内容・参考になった内容>

- ・「愛着関係」ということは知らなかった。「愛情」とは違うということで、自分を責めることはない・・・と言われ、ほっとした。
- ・子どもとの生活をもっと大切に、ていねいにしていきたいと思った。

【保護者 G さん】

<感想・意見など>

- ・子どもたちの気持ちをゆっくり聞いていなかったなあ・・・と思いました。
- ・行きしぶりがあって、毎朝、子どもたち3人、それぞれ遅刻をしたり、その日によって私もどう動くかが変わってしまうのがストレスでしたが、・・・
本人の気持ちで行こうと思えたこと、遅刻でも行けたことを認めてあげないといけないなあと思いました。
- ・まわりに同じように不登校で悩む方がいなかったもので、・・・
今日、セミナーで同じような悩みをもった方の話しが聞かれて、良かったです。



【保護者 E さん】

<感想・意見など>

- ・初めて参加します。
- ・我が家では、父母の関係が一般とは反対なので、立場を置き換えて、行動できることはやってみたいと思います。

<印象に残った内容・参考になった内容>

- ・応答的に対応する。
- ・価値観の押し付けはしない。



【教育関係 F さん】

<感想・意見など>

- ・「愛着関係」の重要性を、改めて認識しました。

<印象に残った内容・参考になった内容>

- ・共感「そう」という言葉を、私もよく使っています。

【保護者 H さん】

<感想・意見など>

- ・「心の手ぬぎ」のお話を聞いて、ハッと思いました。私は10点ではないので、足りないものは何か、よく考えながら子どもと関わってきたいと思いました。
- ・いたわりやねぎらいの言葉かけを、ほとんどしていなかったことに、気づきました。子どものつらい気持ちを、ていねいに受け止めていなかったと、反省しました。
- ・「晩ごはんは、何？」というのも、甘えなんだと知りました。
子どもの甘えに、もっと気づけるようにしていきたいと思いました。

<印象に残った内容・参考になった内容>

- ・「愛着関係」づくりが、これからでも、まだ間に合うということ。

【保護者Iさん】

<感想・意見など>

- ・「正しい理解」「正しい共感」のお話を聞いて、子どもの話を、ていねいに聞いてあげていなかったなど、反省しました。
- ・これからは、「ふーん」「そうなの」「なるほど」と、子どもの話をたくさん聞いてあげたいと思いました。
- ・「私が、余計な一言を言わない」というのが、わが家の「安心・安全」が増えていくことだと思いました。

<印象に残った内容・参考になった内容>

- ・「愛着関係」の大切さが、よく分かりました。

【保護者Jさん】

<感想・意見など>

- ・親子関係がよくなく、よかれと思って言うこと・することが、全く良い方向に行かなかったのですが、・・・
- まだ今からでも間に合うと聞いて、気長に、ていねいに、手抜きになっていたことを続けていきたいと思いました。

<印象に残った内容・参考になった内容>

- ・アドバイスをしないことについて



◆皆さんからいただいたご質問・ご意見へ・・・(補足と解説)

「質問タイム」で、いろいろとご質問・ご意見をいただきましたが、説明が不十分なことがありましたので、以下の紙面をかりて、少し付け加えのお話をしたいと思います。

質問 A 「不登校の要因」は、・・・何ですか？

<お応え>

- ・「不登校の要因は、よく分かりません。」とお話ししました。
- それは、個々の子どもさんによって、
- ・・・その要因がいろいろあると考えるからです。

<補足と解説>

- ・文部科学省は、毎年、不登校についての実態調査を行っています。
- その調査の中で、「不登校の要因」についても統計をとっていますが、・・・その調査の回答者は、**不登校の子ども自身ではなく、学校の先生です。**
- 例えば、ほとんど学校に登校していない子どもの「不登校の要因」を、**学校の先生**は正しく把握できているのでしょうか。
- ・このような方法で「不登校の要因」を、**正しく把握することは、誰が考えても、不可能です。**
- ・「不登校の要因」については、・・・数年前、・・・
- NHKが、**Line (ライン)** を活用し、**不登校の子どもに、直接回答**してもらった調査があります。
- 7月の「サポートセミナー」では、**この調査結果を新たに加えて**解説をすることにいたします。



質問 B 「子どもを車で学校まで送るけど、学校に行けないことがあります。」

<お答え>

- ・「学校に行こうとしている子どもさんの、その気持ちに共感することを、大切にしましょう」・・・とお話ししました。
例えば、「学校に行こうという気持ちだったんだね」といった具合にです。



<補足と解説>

- ・「**せっかく、あなたが言うから送ったのに・・・**」などと嫌味的なこと言ったり叱ったりすると、子どもは「安心・安全」が感じられなくなり、学校へ行こうとする「探索行動」には、ますますブレーキがかかってきます。
- ・ですから、ネガティブな対応は控えることです。例え、学校へ行けなくても、・・・
「学校に行こうとする前向きな気持ちの変化」をそっと支えることが、**次のステップへ繋がります。**

★セミナーではお話しできませんでしたが、「安全基地」の他に、「**避難基地**」というのもあります。
この「避難基地」があるのか、ないのかということは、子どもにとっては、死活問題に相当します。

★では、「**避難基地**」とは、いったい何でしょう。それは、例えば、・・・

「**いざというときに、自分が避難する場所**」

「**いざというときに、自分の安心・安全を確保する場所**」

「**いざというときに、自分の生命や心の平静を守ってくれる場所**」・・・です。

それは、多くの場合、・・・**母親**であり、**父親**であり、**家庭**です。



- ・車で学校まで送ってもらった。でも、学校に着いてみると、急に、不安や緊張が高まってきた。
そんなとき、・・・
「不安な気持ちになってきたんだね」と言ってもらい、家（避難基地）へ連れて帰ってもらえると、子どもは、どれくらいの「安心・安全」を感じることができるでしょう。

★問題は、**ここで終わりません。**

家へ連れて帰ってもらって、「安心・安全」を感じとることができた子どもは、・・・

いつかまた、**再チャレンジ（再登校）**をしようとする気持ちになってくると思いませんか？

「避難基地」があるのか、ないのか、・・・ということは、それくらい重要なことなんです。

* 「他にも、ていねいにお応えした方が・・・」とふり返っていますが、ここまでとさせていただきます。

文責 西村明倫（カウンセリングルーム「クローバー」代表、「鳥取タンポポの会」アドバイザー）

公益社団法人日本心理学会認定心理士

メンタル心理カウンセラー

一般社団法人日本 TFT 協会診断レベルセラピスト